

みずほCustomer Desk Report 2020/04/15号(As of 2020/04/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.58
TKY 9:00AM	107.63	1.0919	117.51	GBP/USD	1.2519
SYD-NY High	107.78	1.0986	117.92	AUD/USD	0.6445
SYD-NY Low	106.99	1.0902	117.32		0.6375
NY 5:00 PM	107.23	1.0984	117.74		0.6442
NY DOW	23,949.76	558.99	日本2年債	-0.170	1.00bp
NASDAQ	8,515.74	323.32	日本10年債	0.010	1.20bp
S&P	2,846.06	84.43	米国2年債	0.2190	▲2.82bp
日経平均	19,638.81	595.41	米国5年債	0.4203	▲3.43bp
TOPIX	1,433.51	27.60	米国10年債	0.7496	▲1.93bp
シゴ日経先物	19,625.00	395.00	独10年債	-0.3805	▲3.15bp
ロンドンFT	5,791.31	▲ 51.35	英10年債	0.3370	3.40bp
DAX	10,696.56	131.82	豪10年債	0.9340	0.70bp
ハンセン指数	24,435.40	135.07	USDJPY 1M Vol	9.30	▲0.04%
上海総合	2,827.28	44.24	USDJPY 3M Vol	8.93	▲0.06%
NY金	1,768.90	7.50	USDJPY 6M Vol	8.83	0.01%
WTI	20.11	▲ 2.30	USDJPY 1M 25RR	-3.28	Yen Call Over
CRB指数	126.01	▲ 1.92	EURJPY 3M Vol	9.79	▲0.07%
ドルインデックス	98.89	▲ 0.46	EURJPY 6M Vol	9.82	0.00%

【昨日の指標等】

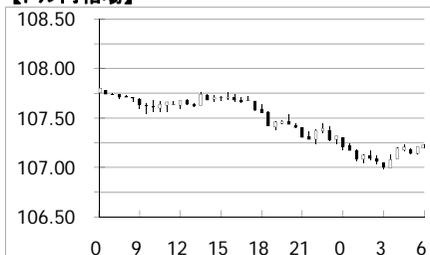
Date	Time	中	Event	結果	予想
4月14日	12:48	中	輸出/輸入(前年比)	3月 -6.6%/-0.9%	-13.9%/-9.8%
	12:48	中	貿易収支	3月 \$19.90B	\$20.00B

【本日の予定】

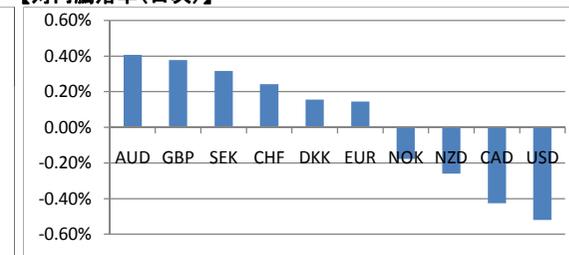
Date	Time	米	Event	予想	前回
4月15日	21:30	米	小売売上高(前月比)・速報	3月 -8.0%	-0.5%
	21:30	米	ニューヨーク連銀製造業景気指数	4月 -35.0	-21.5
	22:15	米	鉱工業生産(前月比)	3月 -4.0%	0.6%
	23:00	加	カナダ銀行翌日物金利	-	0.25%
4月16日	3:00	米	ページブック公表	-	-

東京	アジア時間早朝に一時107.78を付けていたドル円は、東京時間を107.63レベルでオープン。日経平均株価が堅調に推移する中、ドル円は底堅い展開となるものの、値幅約20銭の狭いレンジでの取引に終始。結局107.71レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.71レベルでオープン。今週以降発表予定の米企業の第一四半期決算に大幅な業績悪化が見込まれており、それに対する警戒感から安全資産とされる日本円が買われた模様。一本調子で下落し、107.31レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2553レベルでオープン。特段材料が見られないなか、方向感なく推移した。1.2564レベルでNYに渡った。(ロンドン・ドルフリー 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、新規手掛かり材料が乏しく、本格化する米企業決算での業績大幅悪化が警戒されたため、米金利の低下とともに上値の重い展開が続き、107.31レベルでNYオープン。オープン前に発表された米銀大手の第一四半期決算で、コロナウイルスの影響を受けて大幅な減益が伝わりながらも主要米株指数はプラス圏で堅調に推移するが、ドル円は引き続き米金利低下を横目にじりじりと下落。午後ドル安の流れが変わらず、一時107円を割り込み106.99をつける。売り一巡後、小幅反発し、107.23レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、米金利低下を受けてドル安が進む中、1.09台半ばまで上昇。イースター休暇明けの欧州勢が参入後に下落したユーロポンドにつれ安となり、一時1.0915をつける場面もあったが、早朝にかけて反発し、1.0964レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、1.0984まで上昇。その後、1.0960付近まで反落するが、ドイツやスペインで感染者数の減速が確認され、EU圏で感染拡大ピークが過ぎたとの見方も一部で強まる中、下落幅は限定された。午後ドル売り優勢の展開が維持され、1.0986まで高値を更新し、1.0984レベルでクロス。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 タイバーツの動向

新型コロナウイルスの影響により一部の新興国通貨は大幅に下落した。アジア通貨ではインドネシアルピア・インドルピアの2通貨が大きな下落を見せており、その次に続くのがタイバーツだ。タイバーツは2015年以降同国の経常黒字の影響で、タイバーツ高のトレンドが継続してきたが、ここにきてアジア通貨の中でも大きな下落をみせている。その理由としては、観光業へのダメージが大きいこと、タイ国内での工場停止等の経済的ダメージが大きいこと等が挙げられる。観光業については、タイの国内GDPの約2割を占めており、観光客のうち約3割を中国人が占めていたことから大きな影響を受けている。またタイは東南アジア最大の製造拠地だが、日経大手自動車会社もタイの工場での生産を4月下旬から5月上旬まで停止する等の措置をとっている。国内の新車販売も2月時点で前年同期比17%の落ち込みとなっており、輸出も振るわない。タイ中銀は、利下げの更なる拡大余地について言及したほか、資産購入プログラム拡充やイールドカーブコントロールの可能性を示唆した。こうした金融緩和により一時的にタイバーツ安が進む可能性があるものの、インドネシアやインドと比較してタイは経常黒字で、外国人投資家の資金引き上げ等の影響を受けづらい構造のため、新型コロナウイルスの影響がひと段落したところで再びタイバーツ高に向かうことが予想される。ただし、今回のウイルスによる経済失速により現政権への不満が高まり、政情不安となった場合にはタイバーツに下落圧力がかかる可能性が考えられる。現政権は2019年の選挙で勝利したプラユット首相が率いる親軍派政党であり、対立するタクシン派政党を支持する農村部や低所得者層は景気減速の影響を受けやすいため、不満が高まれば政治的な不安定さが顕在化してくる可能性もあるだろう。(高根)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 高根・高村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見直し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
7	13